

ゲリラ豪雨による浸水被害軽減を図り住み良い環境づくりへ
「下水道工事(小原田貯留管)の現場説明会」を開催します



ターゲット 13.1

令和3年7月28日

郡山市上下水道局

下水道整備課

担当：相樂 寿和

TEL：932-7672

SDGs ターゲット 13.1 「気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化する」

ゲリラ豪雨による浸水被害軽減対策の一環である貯留管築造工事について、事業概要及び工事内容の周知を図るため、周辺地域住民を対象とした現場説明会を開催します。

- 1 日 時 7月31日(土)及び8月1日(日) 雨天決行
午前8時00分から正午まで
各回所要時間：約40分
(見学開始時間①8:00、②9:00、③10:00、④11:00)
- 2 場 所 小原田貯留管築造工事現場(池田公園内発進立坑防音ハウス)
- 3 参加者 周辺地域住民(70名程度)(事前受付済み)
- 4 内 容 下水道工事(小原田貯留管築造工事)の概要説明及び現場見学
(各回)概要説明 20分
現場見学 20分(防音ハウス内地上部分のみ)
- 5 説明者 郡山市上下水道局下水道整備課 主任技査兼係長 遠藤 正史
主任 横田 勲
- 6 備 考 事前に申し込んだ方以外で参加を希望される方は、事前予約(空き状況の確認)が必要です。下水道整備課(雨水施設係 932-7672)までお問い合わせ願います。

※新型コロナウイルスの感染状況等により、急遽開催を中止させていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

<工事の概要>

小原田貯留管築造工事は、東部幹線地区の主要施設であり、阿武隈川沿川に位置する小原田及びその他周辺地区において、短時間の局所的集中豪雨による浸水被害を軽減するため、2014(平成26)年度に策定した「郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン」に基づき、市内5地区において整備を進めている貯留施設の一つです。

本工事は、2010(平成22)年7月6日に郡山駅前周辺地区などに床上浸水等の被害をもたらした10分間最大雨量23mm(計画降雨1時間当たり58mm相当)の降雨に対応できる雨水貯留管を整備するものです。

現場説明会の留意点

- 1 当日は、動画(シールド工事の概要など)上映を約 20 分と防音ハウス内の見学を約 20 分で合わせて 40 分程度を予定しております。
コロナ禍を考慮し、地上部のみの見学とさせていただきます。
- 2 会場は、駐車場がございませんので、徒歩・自転車等にて、ご来場いただきますようお願いいたします。
- 3 当日は、検温していただき、37.5℃以上の発熱がある方は来場をご遠慮いただきます。また、マスク着用の上、ご来場ください。

位置図

